

2021年5月13日

株式会社マクネット

CASE に関するユーザー意識調査を実施

「CASE」の認知度は高いものの現利用者の満足度は低い結果に。高齢層の理解不足が一因

**コネクテッドサービスで最も利用されているのは「リモートメンテナンス機能」
カーシェアで最も不安に感じることは「クルマの状態が事前に分からない」**

株式会社マクネット(本社:東京都千代田区、代表取締役中村与志也)は、次世代モビリティ技術として注目される「CASE:Connected(コネクテッド), Autonomous(自動化), Shared(カーシェア), Electric(電動化)」に関する乗用車ドライバーの意識調査を実施しました。

調査はCASE各機能・サービスを既に利用、または機能搭載車種を保有している既ユーザー500人と、未利用/未保有の未ユーザー500人に対し、各機能に対するイメージや満足度、今後求める性能等についてアンケートを実施した結果を分析・検証したものです。調査・分析期間は2021年3月~5月。

「CASE」に関するユーザーアンケート結果

		大変便利・安心+やや便利・安心		大変満足+やや満足		
		認知度	肯定度	満足度		CASEトピックス
C	コネクテッドカー	53%	46%	54%	67%	最も認知・利用している機能は リモートメンテナンス
	ACC	73%	52%	49%	39%	次世代に一番求めるものは スムーズな加減速
A	AEB	98%	58%	42%	85%	一番不安に感じることは システムの誤作動
S	カーシェア	90%	41%	37%	61%	一番不安に感じることは クルマの状態が事前に分からない
E	EV	95%	35%	35%	74%	一番不安に感じることは 外出先での充電切れ

「コネクテッドカー」は今回対象とした機能・サービスの中では最も認知度が低い一方、満足度は最も高い結果となった。「リモートメンテナンス機能」が最も認知・利用されている。主に高齢層での認知度や満足度が低い傾向なのが課題である。

「ACC」及び「AEB」は、幅広い車種で搭載が進み認知度が高い一方、満足度は40%台にとどまっており、「AEB」ではシステムの誤作動に対する不安が多く聞かれた。

「カーシェア」は、満足度が30%台で、利用できる拠点数や保有台数が少ないなどの課題がある。また、レンタカーと比べて管理が行き届いていないため不安点として「利用するクルマの状態が事前に分からない」が挙げられた。

「EV」は、肯定度・満足度が調査対象の中で最も低い結果となった。充電にかかる時間やステーションの少なさ、航続距離などが不満点として挙げられており、普及に向けた技術革新とインフラ整備が期待される。

調査設計

【対象機能・サービス】

CASEサービス・機能		既ユーザー	未ユーザー
C	コネクテッドカー	利用者	未利用者
A	ACC	使用者	未使用者
	AEB	所有者	未所有者
S	カーシェア	利用者	未利用者
E	EV(BEV)	所有者	未所有者

【有効票数】各機能・サービスごと「既ユーザー」500人、「未ユーザー」500人の合計1,000人を有意抽出

	計	20代以下	30代	40代	50代	60代以上
計	500	100	100	100	100	100
男性	250	50	50	50	50	50
女性	250	50	50	50	50	50

※認知度に関する質問のみ、無作為抽出した乗用車ドライバー5,000人を対象に実施

「CASE」を構成する要素である「Connected(コネクテッド)」は「コネクテッドカー」、「Autonomous(自動化)」は「ACC」及び「AEB」、「Shared」はカーシェア、「Electric(電動化)」はEVをそれぞれ調査対象とし、それぞれの機能・サービスについて利用したことがある、または機能搭載した乗用車を保有している「既ユーザー」と、利用したことが無い、対象乗用車を保有していない「未ユーザー」に分類し、それぞれ男女・年代別で500人ずつのアンケートを実施した。また、無作為に抽出した乗用車ドライバー5,000人に対し、各機能・サービスの認知度に対するアンケートを実施した。

当調査レポートでは、各機能・サービスについての認知度、イメージ、既ユーザーによる満足度の他、利用頻度や求める機能など、多様なアンケートを実施し、分析を行っております。

調査方法

調査方法: Web アンケート

調査・分析期間: 2021年3月～2021年5月

調査主体: 株式会社マクネット

本件に関するお問い合わせ先

株式会社マクネット

〒101-0023 東京都千代田区神田松永町10番地

X-Tech Business Unit 遠藤、牛込、志賀 電話: 03-5294-4410 メール: info@i-mct.jp

引用・転載時のお願い

報道関係者様: 本リリースの引用・転載時には、必ず弊社クレジットの明記をお願い申し上げます。

報道関係以外の方: 本リリースの引用・転載時には、必ず弊社承諾を得ることをお願い申し上げます。